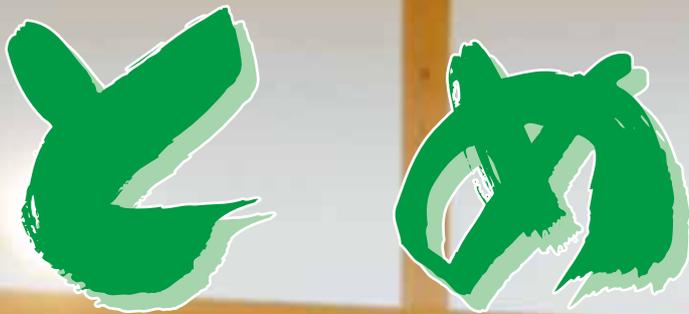


—夢・大地 みんなが愛する水の里—



# 市議会だより

2019

第58号

5月1日

入園おめでとう!  
(津山幼稚園 入園式)



## 目次

ようこそ登米市議会へ .....	2
2月定期議会 .....	4
会派代表質問 .....	16
一般質問 .....	18

## 小学生による議会体験

小学校における社会科学習の一環として、議会体験の受け入れをしています。議場を見学するだけでなく、子どもたちが議長、議員、市長、職員などの役割にわかれ議会を体験することで、議会がより身近に感じられるような取り組みをしています。



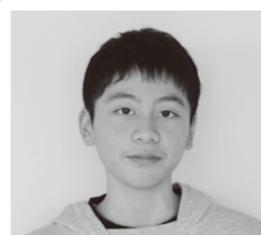
宝江小学校 31年1月21日



南方小学校 31年1月31日

## 総合学習の発表 31年3月12日

西郷小学校6年生が社会科学習の一環として議会体験並びに総合学習で1年間学んできた「登米市・南方の食」について、地域の魅力を探り、調べたまとめを議場で発表しました。本市の将来を話し合う議場で子どもたちが描く“登米市の明るい未来”を堂々と発表しました。



西郷小学校 高橋 莉央くん  
議会で、市長と市民の代表者の議員が登米市の未来について話し合いをしていることがわかった。



西郷小学校 山田 結愛さん  
議場見学をして、議会の役割がわかった。総合学習で調べたことを発表したため、登米市の発展につなげてほしい。

# ようこそ! 登米市議会へ♪

これまでに活用された議場の取り組み

## 佐沼小学校合唱隊による市民歌斉唱 31年1月15日



佐沼小学校合唱隊によって市民歌斉唱が行われ、31年登米市議会定例会の開会に花を添えていただきました。

## 子供議会の開催 30年11月10日



子供議会は、公益財団法人とめ青年会議所が主体となり、青少年事業の一環として毎年開催されています。実際の議会ルールにのっとり質問が行われ、中学生の視点による身近な問題や疑問を市長にただしています。

# 31年度当初予算 総額852億円を可決

## 2月定期議会

平成31年度定例会2月定期議会は2月1日から3月7日までの35日間で開かれました。本定期議会では、条例制定、意見書1件、30年度補正予算など、38議案を原案のとおり可決。31年度各種会計当初予算は、歳入に見合った歳出予算編成を基本姿勢とし、重点化するべき施策を絞り込み効率的、有効的に配分したが、財源確保のため財政調整基金から多額の繰り入れを行い、厳しい予算編成となっています。予算審査においては、予算審査特別委員会を設置して付託。また、市政に対し、5党派が代表質問を行い、16人の議員が一般質問を行いました。



誕生祝金条例改正における採決の様子

### 31年度 当初予算を可決

31年度当初予算は、一般会計470億2993万円、前年度比12.4%の減額となっています。特別会計は、242億5344万円、前年度比4.4%の減となっています。企業会計は、139億6024万円、前年度比2.8%の減となっています。各種会計の全体予算は、852億4361万円、前年度比8.7%の減となり、厳しい予算編成となっています。

### 各種会計予算総括表

(単位:千円)

会計名	平成31年度 予算額(A)	平成30年度 予算額(B)	増減額 A-B=C	伸率(%) C/B	
1 一般会計	47,029,929	53,667,306	▲6,637,377	▲12.4%	
2 特別会計	(1) 国民健康保険	8,975,162	9,158,009	▲182,847	▲2.0%
	(2) 後期高齢者医療	773,328	833,519	▲60,191	▲7.2%
	(3) 介護保険	10,043,570	10,192,916	▲149,346	▲1.5%
	(4) 土地取得	7,406	137,084	▲129,678	▲94.6%
	(5) 下水道事業	4,443,177	4,882,250	▲439,073	▲9.0%
	(6) 宅地造成事業	10,801	167,987	▲157,186	▲93.6%
特別会計 小計	24,253,444	25,371,765	▲1,118,321	▲4.4%	
3 企業会計	(1) 水道事業	4,047,610	3,839,947	207,663	5.4%
	(2) 病院事業	9,438,959	10,027,946	▲588,987	▲5.9%
	(3) 老人福祉事業	473,672	490,441	▲16,769	▲3.4%
企業会計 小計	13,960,241	14,358,334	▲398,093	▲2.8%	
合計	85,243,614	93,397,405	▲8,153,791	▲8.7%	

### 諸課題に全力で 立ち向かう

市長は、施政方針で本年、特に力を注ぎ取り組む3つの分野と第二次登米市総合計画の推進に資する主な施策について、5つの基本政策ごとに説明しました。

### ◎3つの分野

#### I 医療

- 登米市民病院の2年後の基幹型臨床研修病院の指定に向け、全力で取り組む。
- 病院や診療所の再編・ネットワーク化を推進する。
- 非公務員型の地方独立行政法人への移行に向けて具体的な検討に着手する。
- 登米市病院事業中長期計画の早期見直しに取り組む。

#### II 教育振興・人づくり

- 分かる授業づくりを通して学力向上を目指す。
- 学校再編に向けて具体的な取り組みに着手する。
- 誕生祝金の支給対象を第一子から拡大する。
- 幼保連携型認定こども園の計画的な整備に取り組む。

#### III 財政の健全化

- 全職員が一丸となり、持続可能な財政基盤の確立を図る。
- 持続可能な公共施設マネジメントに取り組む。
- 行政組織については、将来を見据えたコンパクトな組織のあり方を検討する。

### ◎5つの基本政策

#### 1 生きる力と創造力を 養い自ら学び人が 「そだつ」まちづくり

- 知識と情報の収集拠点となる図書館の整備に向けて検討を進める。

#### 2 安全・安心な暮らしが 支える笑顔で健康に 「いきる」まちづくり

- 生活習慣などの改善に向けて、市民の健康づくりへの意識高揚に努める。

#### 3 地域資源を活かし 魅力ある元気な産業を 「つくる」まちづくり

- 登米市産米の需要の拡大に取り組み、農家の経営安定と所得確保に努める。



総括質疑

#### 4 自然と生活環境が 調和し人が快適に 「くらす」まちづくり

- 公共交通機関の整備・充実については、利用者の利便性向上と持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す。

#### 5 市民と行政が 「とも」に「創る協働に よるまちづくり

- 広聴活動を通して、市民ニーズや地域の課題を把握し、より多くの意見や要望をまちづくりに反映させる。

## 総括質疑

田口政信議員

市一般会計470億円の予算編成過程で38億円の財源不足が生じ、財調を取り崩すなど財源調整に苦慮したとしている。

自主財源である市税の確保対策として農業振興や商工業振興に配慮した予算措置をしたのか。

債権回収に全力を尽くすとともに、産業振興に投資している各種助成金が効率的に運用され、業績が好調に推移し税収に反映させたい。

委託料のウエイトが5億円と大きい。慣習的な契約へのメスや競争力を担保できる手法の検討、指定管理料の再チェック、使用料、手数料の検証などを実施すべきでは。

行革の取り組みの中で必要性や効果を検証し、業務量の見直しや集約化をしていく。

病院事業に19億2千万円の繰り出しをしているが一般会計を圧迫していないのか。

医師確保を最重要課題とし、基幹型臨床研修病院指定に向かうこと、地方独立行政法人化に向け努力し、改善をしていく。

佐藤恵喜議員

消費税率が10%になれば、市財政への影響はますます大きくなるか。歳入と歳出、いわば市財政の入りと出がどうなるのか。

地方消費税交付金は、基準財政需要額に算入されるので、消費税率引き上げに伴う収入の増額分が普通交付税において相殺されることから、歳入への影響は少ない。

一方、市が消費者として負担する消費税の増税に伴う31年度予算での影響額は、推計ではあるが企業会計を除く一般・特別会計合計で約2億円となり、その額が市の負担増となる。

市立病院における消費税の損失はいくらになるのか。

控除対象外消費税2億9243万円程度がすべて損失となる。10月からの改定により、31年度半年分で3918万円程度増加する。

消費税率が上昇すれば控除対象外消費税の費用計上額もさらに増加することから、宮城県市長会を通じ、消費税制度の抜本的改正について国へ要望をしているところだ。

# 誕生祝金 第1子からに拡大

## 子育て用品支給券は終了

### 条例の改正

#### ◎誕生祝金条例の一部を改正

出生した日から市内に住所を有する子供に対して祝金を支給する。

これまで、第3子以降としていた誕生祝金を、第1子及び第2子も対象とする。

◎ 今までは、第3子以降の子育て用品支給事業（左下表参照）だが、祝金支給となることから、終了となる。少子化対策のための祝金だが、実質的には親の負担増となるのでは。

◎ 18歳までの医療費無料化を実施している。財政状況の観点からも、これが精いっぱい

◎ 選挙公約で、庁舎は建設しない。余力は福祉、子育て支援に充てるとしていたが。

◎ 18歳までの医療費無料化を実施している。財政状況の観点からも、これが精いっぱい

**反対討論** 工藤淳子議員  
子育て支援の充実ではない。後退した内容になっていく。支給券廃止は、若い子育て世代の負担となることから反対する。

日下 俊議員  
子育て用品支給券から誕生祝金に名称を変えた形である。市長が掲げる最重要施策とは違う条例改正の提案である。市民からの理解を得られないと考える。

**賛成討論** 上野 晃議員  
地域が子を育てるといふ精神を私はこの議案に見出すことができ、賛成する。

#### 採決 可決

	3月まで	4月から
第1子	子育て用品支給券 3万6千円 (3千円×12か月)	祝金 3万円
第2子		祝金 5万円
第3子以降	3万6千円 +祝金10万円	祝金 10万円

◎市立学寮条例を廃止  
施設設備の老朽化及び少子化や社会情勢の変化による入寮者の減少に伴い、閉寮するため、本条例を廃止する。



登米物産館は存続する

【仙台学寮】  
旧登米町が町民の子弟並びに登米高卒業生で仙台周辺の大学などに進学する者のために宿舎を提供する目的で、昭和29年4月発足した。木造家屋老朽化により、昭和56年3月全面改築。合併前には366人、合併後53人、計419人に利用された。

### 一般会計補正予算

各種会計補正予算は、一般会計補正予算で540万円の増額、6特別会計で1億4203万円の減額、3企業会計で4億2008万円の減額など補正計上し、30年度予算総額を948億9872万円とする補正予算案を審議し原案のとおり可決しました。

#### 体育施設整備費

##### 1億119万円の減額

◎ パークゴルフ場整備で、継続費や繰越で1900万円ほどの工事費を新年度に繰り越している。開園している遊園地の営業に影響はないのか。

◎ パークゴルフ場関連予算が教育部から計上されているが、指定管理の監督は産業経済部だ。執行は誰がするのか。

◎ これまで教育部が中心となって進めてきた経緯がある。半年程度、補助執行し円滑な移行に努めたい。

#### 生活保護各種扶助費

##### 4118万円の減額

◎ 生活保護各種扶助費で約4118万円の返還金が発生している。どういう事情であったか。

◎ 医療費扶助が見込みより

も下がったためである。

◎ 民生費はここに来て1億円も減額となっている。予算編成や中途の補正で少し配慮すべきではないか。

◎ 国への実績報告がこの時期になるからである。

#### 病院会計費

##### 2億3703万円

◎ 病院会計のうち、不採算病院運営費で今回の補正を合わせ3億5177万円を補っている。これに対する交付税措置はあるのか。

◎ 国からは、特別交付税として約1億2000万円を見込んでいる。

#### 小学校管理運営費

##### 1473万円

◎ 撤去する南方小学校のブロック塀について、アスベストが含まれているとのことだが、大丈夫なのか。

◎ 安全性を考慮し、春休み



ブロック塀の撤去が待たれる南方小学校

#### 賦課徴収一般管理費

##### 107万円の減額

◎ 納税貯蓄組合の中で、個人情報取り扱いはどう対応するのか。

#### 支所維持管理費

##### 395万円の減額

◎ 支所費資金が減額されているが、その内容は、各支所に配置しているバスの運行に際し、臨時職員による運行実績を精査した結果である。

#### 2月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	採決結果																											
		賛成	反対	1 上野 晃	2 曾根 充敏	3 佐々木好博	4 須藤 幸喜	5 岩淵 正弘	6 佐藤千賀子	7 熊谷 和弘	8 日下 俊	9 佐々木幸一	10 氏家 英人	11 工藤 淳子	12 武田 節夫	13 関 孝	14 岩淵 正宏	15 伊藤 吉浩	16 中澤 宏	17 浅田 修	18 佐藤 惠喜	19 田口 政信	20 沼倉 利光	21 相澤 吉悦	22 熊谷 憲雄	23 及川長太郎	24 八木しみ子	25 伊藤 栄	26 及川 昌憲
議案名	議決結果	賛成	反対	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	議
議案第32号 登米市誕生祝金条例の一部を改正する条例について	可決	13	11	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	議

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対または賛成しなかった者、(欠)は欠席、(議)は議長。

主な予算を  
ピックアップ



# 暮らしを支える予算を

# 可決!

世代別 分野別	赤ちゃん世代	学びの世代		働きの世代	シルバー世代	
福祉・保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生祝金支給 2650万円</li> <li>・児童手当給付 11億2127万円</li> <li>・子ども医療費助成 3億1611万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生インフルエンザ予防接種助成 252万円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種がん検診等健康診査 3億5079万円</li> <li>・食生活改善 603万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者インフルエンザ予防接種助成 6224万円</li> </ul>	<p>誕生祝金条例を可決 第一子から支給対象に</p> <p>登米市の健康状態 3人に1人が高血圧要治療!</p> <p>健康寿命(県内) 男性ワースト2位 女性ワースト3位</p>
	教育・文化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校音楽支援 692万円</li> <li>・スクールバス 住民バス運送業務委託 3億 5301万円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域伝承文化振興 500万円</li> <li>・文化振興費 1億730万円</li> </ul>	
産 業					<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策 428万円</li> <li>・多面的機能支払交付金 5億9359万円</li> <li>・中小企業資金融資利子補給 4240万円</li> <li>・ビジネスチャンス支援 2368万円</li> </ul>	
	住宅・土木		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路維持補修費 4億632万円(市民通報 システム含む)</li> <li>・河川維持費 1597万円</li> <li>・市民バス運行業務委託 1億5921万円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅、地域集会施設耐震改修助成 625万円</li> </ul>	



委員長 八木しみ子

# 当初予算を厳しくチェック

予算審査特別委員会（委員長 八木しみ子議員、副委員長 曾根 充敏議員）では、平成31年度一般会計のほか、6特別会計と3企業会計の予算を審査しました。終始熱心な議論がされ、活発な委員会となりました。

**防災・消防**

**緊急告知ラジオ**

**Q** 緊急告知ラジオ受信状況改善業務委託料（657万円）について、どのような問題が発生し、改善を図るのか。

**A** 受信が良好にできない家庭において、屋外にアンテナを立てることで、改善を図るものである。31年度で完了したい。

**Q** 消防団の表彰について、入団が同じでも、表彰人数の制限で、後年度になる場合がある。改善を図るべきでは。

**A** 再度現状を確認して改善したい。

**商・工**

**九州オルレ（福岡県宗像市）**

**Q** オルレの実施に向け、除草より優先すべき事業があるのではないか。

**A** オルレのコースとして理想的な小道は、熊にとっても理想的な獣道であると考え、参加者の安全対策はどのように考えるか。

**A** 市内各地で熊が出没していることは、紛れもない事実である。

多様な体験談を聞き、しっかりと精査をして危険性の除去に努めたい。

**民生・衛生**

**Q** 介護用品支給費が昨年の7470万円から3349万円に大幅に減額になっているが。

**A** 今後も持続可能な制度として、31年度からは非課税世帯のみ対象としたためである。

**Q** 中学3年生を対象に、インフルエンザの一部助成が拡大された。周知の方法は。

**A** 学校への啓発について、工夫を重ねていきたい。

**総務・企画**

**Q** デマンド型乗り合いタクシーの導入目標とは。

**A** 高齢者などの地域内交通の確保を目的としていく。また、運営については地域ごとの実情を考慮し実施していきたい。

**Q** ふるさと納税の新たな取り組みについて。

**A** 昨年度1億を切る状況の中、プロジェクトチームを設けて納税額確保に向け検討していく。

**Q** 市内302ある行政区の再編についての考えは。

**A** 各総合支所長とも検討の上進めていきたい。

**教育**

**Q** 学校の楽器について、部員すべてにまわらず、個人で楽器を購入している学校があると聞く。計画的に整備が必要だ。

**A** 31年度から4年間の計画で、学校の状況等を確認しながら、整備していく。

**Q** 東京オリンピックの事前キャンプ誘致活動に対する経費で、旅費の金額がかなり多額になっているが。

**A** 相手国が決まるまで、また決まってしまうまでの東京往復の旅費である。

**土木**

**Q** 本市の景観は、観光資源であるので、どのように形作っていくのかという方向性は、非常に重要と考える。

そこで、方向性に関する理念について伺う。

**A** 景観計画等に基づいて街並み保全や開発の誘導等を行っている。

市民が同じ目的、目線で環境保全等に取り組んでいくことが理想であると認識している。

**建設中のクリーンセンター**

**Q** 12月から稼働する新クリーンセンターの特徴は。また、搬入物の規格に変更はあるか。

**A** 新たに小動物などの焼却施設を設置する。搬入物の規格（長さ）については、試運転をしながら決めていく。

**Q** 子どもの貧困調査について、どのような形で行うのか。

**A** 中学2年生、632名を対象にアンケート調査を行う予定である。

**農・水**

**有害鳥獣対策の電気柵**

**Q** 有害鳥獣の発生状況と被害額の現状は。

**A** 29年度の状況として、被害面積971アール、被害金額1159万9千円となる。

**Q** 新たに開始される森林経営管理制度の予算として予定される、森林環境譲与税の利用法針は。

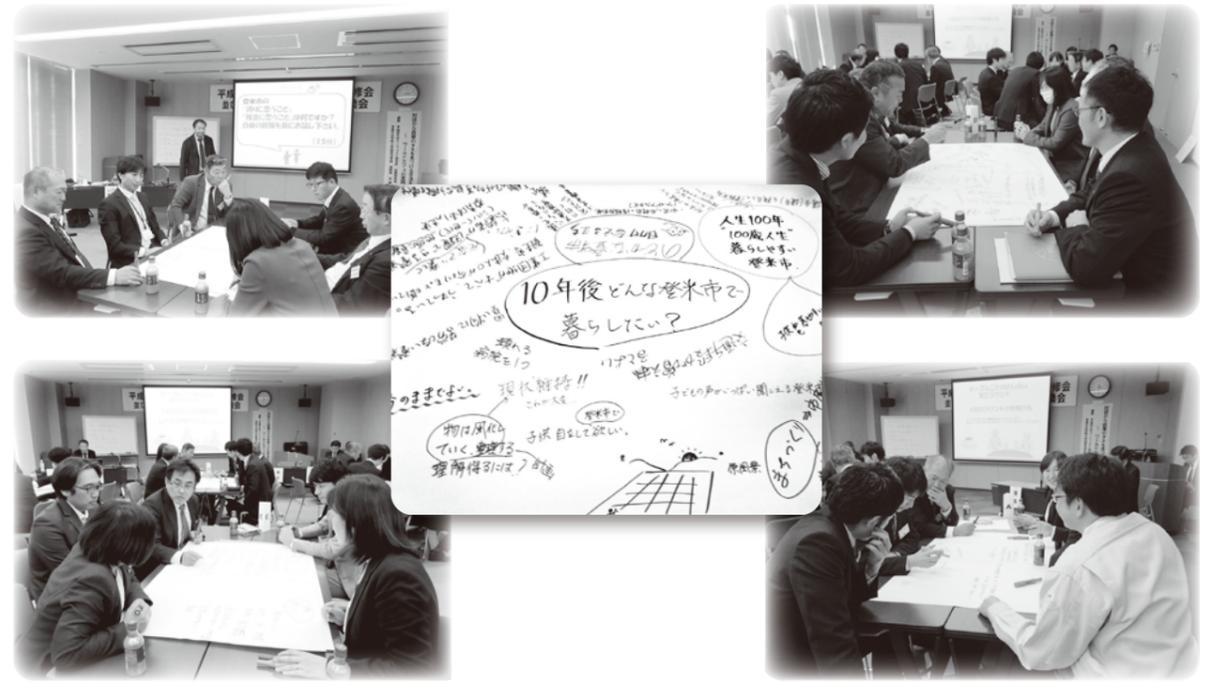
**A** 使い道のガイドラインがまだ決定していないものの、森林の手入れや林業経営体の集積等に活用すべく、鋭意検討していきたい。

# 『対話から政策のタネを見つける手法を学ぶ』 ～ワールドカフェ方式の実践～

## 議員研修会並びに若手職員との意見交換会を開催

31年2月4日登米市消防防災センター会議室において、議員研修会並びに若手職員との意見交換会を開催しました。

講師には青森中央学院大学経営法学部准教授（早稲田大学マニフェスト研究会招聘研究員）の佐藤淳氏を招き、『対話から政策のタネを見つける手法を学ぶ』～ワールドカフェ方式の実践～と題して、講演をいただきました。その後、若手職員との意見交換会をワールドカフェ方式で実践しました。



ワールドカフェは、世界旅行のようにテーブルを移動しながら、カフェのようにリラックスした雰囲気の中で対話をするというものです。社会の変化のスピードが速い現代、これまでの常識ややり方が通用しなくなってきています。みんなが「100%満足」ではなくても「これなら納得」という落としどころを見つけていくには有効であり、議会でも取り入れていこうと、研修を行いました。

### 総務企画常任委員会

## 市民意見が反映される工夫を



市民参加の女性会議

**各計画・戦略の策定、見直し**  
(12月12日調査)  
今回企画部から3つの取組について説明を受けた。

**第二次登米市総合計画**  
(基本計画)の見直しについては28年に策定された本計画について策定後5年を目途に必要な見直しを行うこととしていることから、5年目となる32年度に向けて社会情勢等の変化を踏まえ、取り組みの検証、また、今後の方向性を定めるために見直しを行うことが報告された。

例えばその見直しの中の一一般財源の確保については、地方交付税の縮小に伴い今後より効率的な政策が求められるなどその対策。また、公共施設の老朽化については更新・統廃合・長寿命化を推進し、利用需要の変化に対応しなければならぬなどである。更にこの取り組みが最も効

果が期待できるようにするための重点政策として(仮称)第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定することとしている。

この市総合戦略の策定は、まち・ひと・しごと創生法の規定により地方創生に関連する国の財政支援措置等を活用する際、必須とされているため、32年10月の策定を目指すとしている。また、総合計画を推進していくためには人口減少や多様な社会ニーズにも対応していかなければならず、併せて行財政改革が不可欠であることから第4次登米市行財政改革大綱及び実施計画を策定することとしている。

いずれの計画も基本的な考え方に沿い、市民参加の機会を多くし検討するとしているが、形式的な会議とならないよう望む。また、その意見収集の場には(ワールドカフェ

方式等)も有効ではないかと提案するとともに、この見直しの中で将来の登米市がどのような形であればならないか、実効性のある計画を望む。

### 迫・米山・石越庁舎劣化診断調査結果について

(12月13日調査)

米山総合支所については建物・設備ともに多額な改修費が予想される。長寿命化よりも新築した方が良いのか、新たな支所形態にするのか地域住民の理解を得ながら検討された。石越庁舎は、設備だけでなく4億7千万円の概算となった。想定外の改修費である。再調査を行い、改修のあり方を検討されたい。迫庁舎は杭基礎損傷度調査も実施、基礎杭が1箇所不良との報告を受けた。長寿命化を目指すからには狭隘な総合支所部分の市民利便性も考えるべき。

# 教育民生常任委員会

## 小中学校再編は保護者や地域の意見を十分聞くべき



PTAとの意見交換会

小中学校等再編構想(案)・(仮称)新登米懐古館整備事業

(1月21日調査)

小中学校等再編構想は、小中学校は旧町域に1校は配置、中学校は当面町域毎に配置とし必要に応じ町域を越えた再編も検討する内容となっている。小学校から始めるということだったが、保護者アンケートの結果もあり、地域によっては同時並行的に実施の検討が必要となる。保護者や地域の意見を十分聞き、計画を進められたい。

(仮称)新登米懐古館整備事業の名称について、初めて説明があり、これまでも同じ「登米懐古館」とする提案があった。当面は直営とするが、早期に指定管理とし周辺の歴史資料館と一体となるような管理が望まれる。

### 新迫児童館・白鳥水の里こども園整備事業

(12月13日現地調査)

新迫児童館は、現在の施設の老朽化に加え狭隘であるため、新たな児童館を整備する。設計変更により登米市産材を80%使用したため、木の香りとぬくもり、開放感が感じられる。子どもたちが元気で健全な遊びができ、情操を豊かにする施設となることを願う。

白鳥水の里こども園は、迫中江保育園と東佐沼幼稚園を再編し、統合した幼保連携型認定こども園である。新しく明るい環境で、子どもたち一人一人を大切にしたい教育、保育が行われることを希望する。

### 仙南地域における医療・介護連携を考える講演会

(12月22日調査)

地域包括ケアの新しいカタチについて、福井大学医学部教授・井階友貴氏の講話を受けた。これからの地域包括ケアを考えるにあたり、とても参考になった。本市でも、地域医療を地域のみならず、地域全体の課題を提案できるような仕組みづくりを望む。

# 行政視察報告

1月22日～24日

## 福岡県太宰府市

### 小中学校における2学期制導入について

2学期制により授業時数が最大20時間程度増加し、授業時間数のゆとりが確保され、教師の負担軽減につながった。

太宰府市は「計画・実行・検証・修正」のサイクルにより、2学期制で学力向上を確立している。本市においては、教育研究所運営事業の見直しや近隣にある良い例を参考に、登米市バージョンへと「検証・計画・実行」する勇気を持つべきである。

## 佐賀県伊万里市

### 伊万里市民図書館について

最大48万冊もの蔵書が収容され、席は440席、子ども用、学生用、大人用に分けられている。図書館づくりが始まった時から、現在も市民参加型が継続されている。職員は18名、そのうち司書は12名もいる。移動図書館は、市内

## 福岡県鞍手町

### くらべて病院の独立行政法人について

福岡県内において、既に2市1町の先進事例があったことや経営状況が良好であったことが、円滑に移行できた要因とのこと。独立行政法人化は、経営改善の魔法の杖ではない。経営形態の検討や課題の改善策など、慎重かつ丁寧に検討すべきである。



# 高森パークゴルフ場の使用料決まる



6月開園予定の高森パークゴルフ場

# 産業建設常任委員会

## 12月定期議会上程議案について

(12月12日調査)

平筒沼ふれあい公園管理者(31年4月1日から5年間)の指定について、引き続き吉田コミュニティ運営協議会に委託することとした。同公園には新年度から宿泊施設が併設される。条例の目的を達成され、地域から愛される施設を目指してもらいたい。

登米市公園条例の一部を改正し、新たに高森パークゴルフ場の使用料を追記した。パークゴルフ場は、健康増進・

交流人口拡大を図る施設として位置づけられた。運用にあたっては、利用者の立場に立った手立てに期待する。

## 主要事業の進捗状況について

(12月13日調査)

大東地区雨水排水整備事業については、川西第4号幹線排水路狭窄部改修が終了した。当該改修箇所断面積は着工前の3倍となり、狭窄に起因する水流阻害が解消されることになる。また、同6号幹線も下流から工事着手されている。大東地区の排水対策

## 都市計画マスタープランの見直しについて

現行の都市計画マスタープランは20年に策定し、26年に見直しを行っている。今回、「地域拠点の在り方」「コンパクトシティ」「創生総合計画」「幹線道路整備による交通計画」などをポイントとして、見直しに入ることとした。31年3月までに「改定都市計画マスタープラン」の素案を取りまとめることとした。

## その他調査項目

- ・ 補正予算
- ・ ブロック塀実態調査
- ・ 日本遺産に向けた取り組み

## 高森公園使用料

入園料	無料
パークゴルフ場使用料	
(高校生以上)	600円
(小中学生)	300円



工事後



工事前



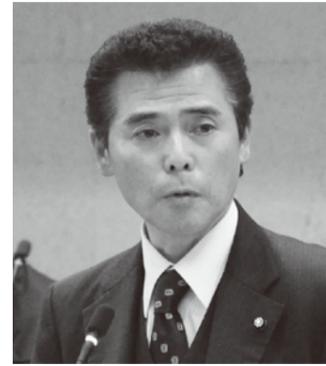
日本共産党市議団  
佐藤 恵喜 議員

**問** 病院独法化は本市にふさわしいか  
**答** 決めるまでもう少し時間がほしい

**問** 独立行政法人化のねらいは、病院経営の効率化だ。果たして、本市にはそれが当てはまるのか。29年度登米市民病院の救急車の受け入れ件数は、常勤医師一人当たり換算で気仙沼市立病院の約2倍だ。いかにこの地域になくはならない病院なのか、はっきりしている。米谷、豊里そして市民病院のベッドをいかに維持するかという立場で考えなければならぬのでは。

**問** 独立行政法人化のねらいは、病院経営の効率化だ。果たして、本市にはそれが当てはまるのか。29年度登米市民病院の救急車の受け入れ件数は、常勤医師一人当たり換算で気仙沼市立病院の約2倍だ。いかにこの地域になくはならない病院なのか、はっきりしている。米谷、豊里そして市民病院のベッドをいかに維持するかという立場で考えなければならぬのでは。

**問** 陸上競技場建設は、さらに検討を進める」とあるが、きっぱりとやめる決断をすべきだ。  
**答** 整備費縮減について



登米・みらい21  
伊藤 吉浩 議員

**問** 縮小社会に向けてSDGs導入を  
**答** しっかりと位置づけて取り組む

**問** 公共施設等総合管理計画で、20年後の削減目標は30%の削減が必要と考える。そのためには、しっかりとした基準データが必要である。新公会計導入でフルコストの見える化が必要と考えるが、個別計画を31年度で完成させたいので導入は難しいが、先進事例を見ながら研究していく。  
**問** 人口減少、縮小社会に備えた協働社会を創り上げていくには、改めて「地域協働体制」の再構築が必要ではないか。

**問** 「SDGs」が世界共通語となり、地球上全ての人が対象とした共通の目標が位置づけられた。自治体としては「持続可能な都市」づくりで、自治体の果たす役割は非常に大きいものがある。縮小社会に向けて総合計画等で「SDGs」を導入すべきと考えるが、

**問** 「SDGs」の理念は「いつまでも、みんなで助け合う社会の実現」である。みんなで助け合う「住民自治の仕組み」を創り上げることが最も重要と思うが、  
**答** いかに縮小社会に対応していくかが今後の課題である。東松島市等の取り組みを参考に、あり方を探っていきたい。



新・立志の会  
佐々木好博 議員

**問** 少子化対策は進んでいるか  
**答** 組織一丸となって取り組む

**一 少子化対策について**  
**問** 少子化対策にはもっと思い切った育児支援が必要ではないか。  
**答** 新しい誕生祝金制度も含め、今後も新たな施策を展開していく。  
**二 健康寿命について**  
**問** 現在、平均寿命と健康寿命の差は男性9年、女性で12年となっている。若い世代からの意識高揚が必要と考えるがどうか。  
**答** 31年から健康問題を認識してもらうための取

り組みを始める予定だ。  
**三 起業・創業、インバウンドについて**  
**問** 市内経済を活性化するため、金融機関と連携した「無利子制度」など創出できないか。  
**答** 創業支援・事業金融懇談会を開催し、融資だけでなくコンサルティング等も含め、連携した支援体制を構築していく。  
**問** インバウンドについては構築できないか。  
**答** 関係団体とも協力し、

取り組み。  
**四 シティプロモーションの今後の方向性は**  
**問** 商品開発を含め、組織内での横断的な連携が必要と考えるがどうか。  
**答** これまで連携が十分な部分があった。今後は市全体で取り組む。  
**五 女性の活動支援について**  
**問** 女性が集える交流拠点が重要と思うがどうか。  
**答** 図書館整備の中で複



大地の会  
武田 節夫 議員

**問** 独立行政法人に着手までの課題は  
**答** 常勤医師不足により赤字の状況

**問** 市政運営の重点施策の医療について。病院経営は、医師不足により待ったなしの状況にある。登米市民病院が一般急性期、米谷・豊里病院が慢性期医療を担う機能分担で歯車がかみ合うのか。  
**答** 3病院が連携することで病床利用率が向上。また、在院日数の短縮につながる医療機器の重複の解消や看護師の適正配置による効率的な経営が可能となる。  
**問** 独法化に向けた改善策、また要する期間は、

**答** 收支改善に向けた抜本的な改革や非公務員型の地方独立行政法人化についての検討が必要。効果としては予算、財務、人事面で自律的、弾力的な運営が可能となる。期間は2年程度を要する。  
**問** 教育振興について。学校統合再編構想が示され、「中学校の再編に向けた取り組みに着手する」としているがその規模は。  
**答** 全校で6学級から18学級までの範囲を適正規

模と考える。町域を越えた統合の検討も必要。  
**問** 財政の健全化について。一般財源の減額に伴い、財政調整基金を取り崩す厳しい財政運営である。歳入に見合った財政規模転換の考え方は。  
**答** 事務事業の改善や廃止に取り組んでいく。  
**問** 次年度の予算編成は、1年ぐらい前から事業計画を立てるべきと思うが。  
**答** 従来の予算編成のプロセスを抜本的に見直す検討をしていく。



登米市立北方小学校

**問** 小中学校における義務教育として行われる普通教育は、「我が国と郷土を愛する態度を養うこと」等が、達成すべき目標として掲げられてい



上野 晃 議員

**問** 時期尚早の学校もあるのでは  
**答** 教育長自ら、地域を回りた

地域の市民がこれらの目標達成について真摯に協力すれば、学校に対して深い愛着の念を抱くのは当然の帰結と考える。よって、地域によって、学校再編に向けて具体的な取り組みに着手することは時期尚早と考えるが。



市民の命を守る市民病院

**問** 安心できる医療体制の構築を  
**答** 各病院が連携できる体制に



太陽の会 氏家 英人 議員

**問** 今後の市民病院のあり方について

**答** 医療人材の育成・確保に努める



相澤吉悦 議員

**問** 市長は、31年施政方針で「市立病院では常勤医師の減少が続いており、医師の確保が最重要課題」と言っている。私

としては、医師の確保に向けて東北大学や東北医科大学の医師がどのような病院のあり方を望んでいるか大学側と連携を図り、医師確保に向けて取り組むべきと思うが。

**問** 両大学と緊密な連携を図りながら、医療人材の育成・確保に努めるとともに、市民病院の基幹型臨床研修病院の指定に向け連携を図っていく。医師がいないと子どもも生まれなければ、本市も発展しない。このことだけは、肝に銘じて取り組んでもらいたい。

**問** 今後、移行に関する課題等の整理を含めた検討組織の立ち上げ、協議を進めていく。  
**答** 今後、移行に関する課題等の整理を含めた検討組織の立ち上げ、協議を進めていく。

**問** 病院事業の経営形態について、「非公務員型の独立行政法人へ移行させる」というが、具体的なスケジュールは。  
**答** 来年度から作業を進める「登米市病院事業中長期計画」の見直しの中で、移行に関する具体的な内容等が反映できるような課題等の整理を含め、検討するための組織を立ち上げる。独法化までに要する期間は、定款の作成や新法人の組織業務体制、人事制度、財務会計

制度の構築など、他の事例を見ると「意思決定から2年程度の期間を要するものと考えている」。  
**問** 栗原市では市内に開業する産科医と小児科医を対象に、開業経費の一部を助成する方針を固めた。上限は1億円で、このような取り組みは県内初である。この政策は千葉市長の選挙公約であり、「公約を実現した」ということだ。栗原市に先を越されてしまったが、市長はどう思うか。

**答** 大変素晴らしい事業だろうと思う。しかしながら、他市の事業であるので論評は差し控えたい。  
**問** 休診中の登米、津山診療所について、民間委譲の考えはあるか。また、例えば登米診療所を民間委譲する場合、どれくらいの償還金が必要なのか。  
**答** 補助金を使って建設したので、委譲の仕方によっては当然、補助金返還が求められる。条件クリアのため、事務方でしっかりと精査させている。

その他の質問  
・財政の健全化について  
・市民の健康づくりについて

**答** 学校再編の必要性については、28年以降、本市の教育環境の現状や課題等を市民に説明し、一定程度の理解を得られたものと考えている。  
また、昨年実施した学校再編にかかわる保護者アンケートでは、約半数の保護者の皆様から「早急に再編を進めたほうがよい」との声が寄せられている。  
これらは、現在策定を進めている学校再編構想の基礎となるもの、学校は地域づくりのあり方とも密接にかかわるものであると認識している。  
このことから、本年5月頃から、教育長自ら地域を回り、様々な意見を聴取したいと考えている。

**問** 基幹型臨床研修病院の指定に向けた進捗状況、病院の信頼回復実現のための改善策、非公務員型地方独立行政法人に向けてどのような議論をしたか。また、フロイチヤートを伺う。  
**答** 研修病院指定の実績要件である新規入院患者3千人以上については、30年度の目標達成が厳しい状況であり、31年度の継続目標とする。信頼回復については、地域に必要とされる医療提供、開かれた病院を目指し、市民との対話を通して理解を得る取り組みを行う。独法化については、病院等運営協議会の外部評価

で議論をいただいた。意思決定から1年半から2年程度の期間を要す。  
**問** 本市の医師は昼夜間わぬ勤務で限界と新聞報道された。研修医を指導できる時間はあるのか。  
**答** 現状では医師の確保は難しいが、指定が受けられるまで頑張りたい。  
**問** 1月21日「まちづくりの会」の勉強会が市内で開催された。市民から「身の丈に合った本市の医療、これ以上ない。市民の払える範囲内の赤字であれば負担するのは当然。市もきちんとした態度で経費の節減を表してほしい。そうすれば市民は税負担を受け入れる」との意見があった。勉強会に参加しての感想は。  
**答** まったくその通りと思う。一般の急性期を担う病院として役割を果たす。



リニューアルした米谷病院

**問** 身の丈に合った本市の医療を  
**答** 一般急性期の医療を提供する

外国人労働者へのマネジメントは



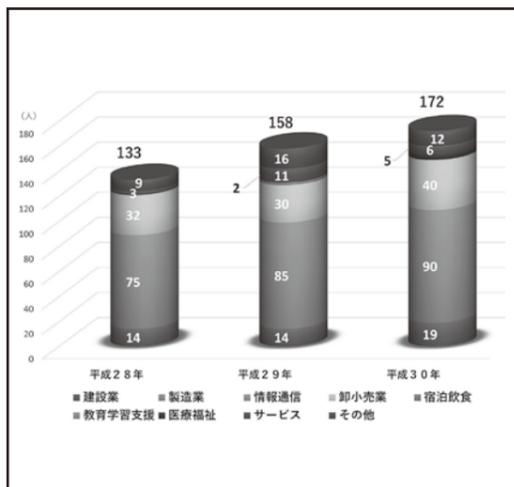
曾根充敏 議員

答 国の制度に則り、市民同様に提供

き適正に提供する。
問 市内企業の外国人人材
ニーズの傾向はどうか。
答 企業では人手不足が
深刻だ。市内28事業所で
172人が就業してい
る。

問 外国人労働者の急増
が予想される。どう対応
するのか。
答 市民同様の福祉サー
ビスを受けることができ
る。国の現行制度に基づ

問 市民同様の公的扶助
が受けられるとというが、
現に本市では可能なのか。
在留外国人の方と窓口
で対応するのは、市役所
職員だ。自前の対策マニ



市内産業別外国人労働者数

ユアルが無ければ難しい
のではない。
答 これまで窓口対応の
件数は多くなかった。過
去には友人や職場の方が
通訳として同行した例が
ある。改正入管法の施行
を考えれば、マニュアル
や外国語表記の案内板と
いった対応は必要にな
る。

交通弱者対策は

問 「車が無い」交通弱
者」が市内の現状だ。ど
のような対策が必要か。
答 少子高齢化が進む
中、生活の中で地域公共
交通が果たす役割は大き
い。

問 市民バス運行で特徴
的なことは何か。
答 29年度の利用者は約
33万人だ。最近では毎年約
1万人ずつ増えている。

問 コンパクトシティ構
想での公共交通の役割
は。
答 中心部を含めて、利
用しやすい交通体系を研
究している。

企業誘致について



伊藤 栄 議員

答 積極的に誘致活動している

問 (仮称)登米インタ
ー工業団地および長沼第
二工業団地を抱えている
が、企業の立地までには
至っていない。企業立地
奨励金や分譲価格、交通
アクセス等で、県内他の
自治体と比較をし、どの
ような位置となるのか。
また、企業から選ばれ
るために発想を変え、公
の遊休施設や空き店舗・
ビルなどの場所を問わ
ず、IT関連に絞る政策
として誘致する考えはな
いか。
答 自治体ごとに企業の
規模や業種、面積等で条
件の設定が違い、単純に
比較はできないが、企業
立地投資奨励金・用地取



早期完売を目指して

得奨励金等は県内でトツ
プクラスである。
IT関連企業は、イン
ターネット通販やSNS
S、スマートフォン、自
動車まで幅広く活用さ
れ、生活に欠かせないも
のとなっている。急速に
発展している産業であ
り、今後も注目すべきで
あると認識をしている。
また、市内全域に光フ
アイバーケーブルによる

高速情報通信網が整備さ
れているので、今後空き
店舗、公共施設などの利
活用も含めた企業誘致策
を検討する。
ふるさと大使について
問 本市にゆかりのある
人を大使に任命をし、魅
力を発信してはどうか。
答 先進地の事例を参考
にしながら検討する。

本市の財政状況は

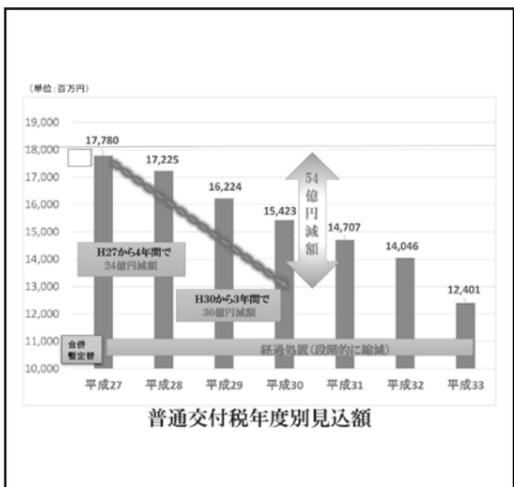


岩淵正弘 議員

答 持続可能な財政基盤の確立を目指す

備・改修等に多額の費用
が見込まれ、これまで以
上に厳しい状況が続くも
のと考える。
そこで、本市の行財政
改革の方向を伺う。
答 人口は地域の活力の
根源であり、その減少は
全ての施策に大きく影響
する。
第二次登米市総合計画
中の「そだつ・いきる・
つくる・くらす」ともに

問 本市の財政状況は、
歳入面では地方交付税の
減額が見込まれる一方、
歳出面では少子高齢化の
進展に伴う社会保障費の
割合拡大や公共施設の整



普通交付税年度別見込額

の5つの基本政策を重点
戦略と位置づけ、具体的
に数値目標を定めて取り
組んでいる。
問 本年、財政調整基金
を約15億円取り崩してお
り、残りが約41億円との
ことである。
また、財政負担率は約
77.7%であるが、今後
の財政の見通しはどのよ
うなっているか。
答 財政調整基金は、施
政方針でも述べているよ
うに、重要である。
31年度の予算編成で
は、約38億円の財源不足
があった。何も努力しな
ければ、財調は来年度に
も枯渇してしまう。
今まさに正念場であ
り、33年度以降の普通交
付税の一本算定を見据
え、しっかりと取り組ん
でいく。

家庭の食品ロスの削減を早急に



熊谷和弘 議員

答 先進事例なども参考に進める

問 今、食品ロスの削減
は国際的な課題である。
政府は、家庭から出る食
品ロスの量を2030年
度までに2000年度比
で半減させる目標を掲げ
ている。
本市においても削減に
向けての啓発などに、早
急に取り組むべきと考え
るが。
答 食品ロスの削減につ
いては、地道かつ息の長
い啓発が必要と考えてい
る。今後も、広報による
周知のほか、先進事例な
ども参考に取り組みを進
める。



「もったいない」をなくそう

政府の2016年度以降
25%を削減するという目
標達成は、決して容易で
はないとされている。
改めて、取り組みに対
する本市の見解を伺う。
答 本市としても力を入
れていきたい。特に子ど
もたちへの啓蒙にシッカ
リと取り組む。

問 市の財政は、今後さ
らに厳しい状況が想定さ
れる。この課題解決に向
けた取り組みの一つとし
て命名権の導入がある。
これは、自治体が有する
施設に愛称を命名する権
利の事である。
本市においても導入す
べきと考えるが。
答 導入に向け、他自治
体の取り組みを調査す
る。

命名権(ネーミングライツ)の導入を

問 オリンピック事前合宿誘致の本気度は

答 今後しっかりと発揮する



須藤幸喜 議員

問 現在の事前合宿誘致活動は、どこの国を考えているのか。本市姉妹都市のカナダチームは、他自治体に決定したとのことだが。

答 イタリア代表チームと考えているが、アルメニア共和国からの問い合わせがある。

問 誘致活動は片手間で実現しない。誘致専門の推進室等は設置しないのか。

答 生涯学習課の所掌事務を整理し、担当職員を置く。さらに、県よりアドバイザーの派遣を受け、取り組みの強化を図る。



事前合宿に最適な長沼ポート場

問 長沼の水質浄化が図られる「イケチョウ貝」を放流してはどうか。あるいは、何らかの取り組みが必要ではないのか。

答 他自治体では、水質改善に一定の効果があるとして放流している。しかし、国内由来の外來種となることから、生態系等も考慮し慎重に判断する。

総合支所の業務の在り方について

問 穴埋め作業、街路灯の球替え、そんなことが権限ではないと考えるが。

答 地域づくり検討会議における意見を集約し、検討していく。

その他の質問

・本市における総合支所の今後の位置づけ。  
・総合支所の現状にあった適正な人員配置について。

問 公民連携の取り組みについて

答 公民連携計画の策定を検討する



佐々木幸一 議員

問 公民連携には色々な事業類型があると思うが、市としてどう取り組んできたのか。

答 現在取り組んでいない公民連携の手法についても調査・研究し、種々の計画見直しに活かすよう検討していく。

問 公民連携という視点を政策の底流に据える考えはないか。

答 水道料金徴収業務のアウトソーシングなど、さまざまな手法で公民連携の取り組みを進めてきた。

問 市民との関わり、企業、大学、NPOなどの公民連携の在り方をどう進めるのか。

答 地域協働のまちづくり事業により、地域の課題解決のため取り組んでいる。企業、大学との連携については、包括連携協定を締結し、民間の力を最大限活用し、地域の課題解決と活性化につなげたい。

問 公共施設等総合管理計画の再編に向けた基本的考えは。

答 施設の長寿命化、資産保有の最適化、民間活力の導入の三つを基本方針とする。

問 今後、登米市公民連携計画の策定が必要ではないか。

答 公民連携は有効な取り組みと認識している。実施している手法以外にも調査・研究し、計画策定について検討する。



公民連携で建設した愛知県高浜市役所

問 0〜2歳児の保育料の無償化は

答 今後の国の動向を注視していく



工藤淳子 議員

問 幼稚園・保育所の費用の無償化が本年10月から予定されている。3〜5歳児は無料だが、負担の重い0〜2歳児は住民税非課税世帯だけとなっている。これでもいいのか。

答 給食費も保育所は実費負担となっているが、給食は保育の一環であり公費負担とすべきでは。

問 無償化の拡大については、今後の国の動向を注視していく。給食費は無償化の実施により、施設による実費徴収を基本とする取り扱いに変更するものである。



保育園の給食おいしいな

デマンド型乗合タクシーの取り組みは

問 市民の通院や買い物、通学等の日常生活を支える移動手段の確保に取組むとしているが、具体的にどう取り組むのか。

答 運営主体は各地域のコミュニティ組織に担ってもらい、運行主体となる市内のタクシー会社などに、乗合タクシーの運行や予約の受付などを行

配食サービスの柔軟な提供を

問 同居人がいても、ケースにより柔軟にサービス提供はできないか。

答 民間サービスの協力をもらい、高齢者の在宅支援に努めていく。

問 市長の重点政策について

答 政策の実現を確実なものに



日下 俊 議員

問 最重要課題である病院・診療所の再編ネットワーク化は、独立行政法人も含め、どのくらいの期間を考えているのか。

答 各種計画の策定期間を踏まえると、2年程度かかる。

問 これまで第3子から誕生祝い金が出ていたが、第1子からの支給となる。しかし従前の子育て応援券の年額3万6千円から3万円に減額となった。その理由について伺う。

答 これまで子育て用品を買うための券を支給してきたが、財政状況が厳しいため祝い金という形で現金支給に組みかえた。



3月末で終了となった子育て用品支給券

問 年収以外の収入を見た時、ふるさと納税がある。3割に返礼品が限定される見込みだが納税者に次年度のポイント付与など工夫が必要と思うが。

答 ポイント付与は、国の趣旨から外れないか、よく精査して取り組む。

問 施設方針の中で図書館整備について触れているが、構想はあるか伺う。

答 子育て中のお母さん方からは、子どもを遊ば

せながら勉強できるように図書館がほしいとの声がある。関係者と協議の上、事業に着手したい。

問 陸上競技場建設問題は合併協議会からの申し送り事項であるが、市長は本当に取り組み覚悟があるか伺う。

答 25億円を超える事業費と工事年数も予想よりも長くなるが、将来に負担を多くしない形で何とかこの事業を成し遂げたい。

問 市長施政方針について

答 医療・教育・財政健全化に力注ぐ



八木しみ子 議員

は何かという視点での選  
択肢として、具体的な検  
討に着手することとし  
た。独法化の経営形態が  
将来的に有効と考えてい  
る。

市長は、市民病院の  
経営形態をなぜ地方独立  
行政法人への移行と明言  
したのか。経緯を問う。

病院や診療所の再  
編・ネットワーク化とは、  
具体的にどう再編するの  
か。地域医療や患者に影  
響はないのか。

各病院・診療所の連携体  
制の構築を進めていく。  
財源の多くは内部管  
理的経費に多く充て、投  
資的経費に資する改善が  
見られない。当初予算に  
どう反映されたのか。

30年度の重点施策を  
どう検証、評価し、どの  
ような成果を得たのか。



浅田 修 議員

認定こども園の保育  
設備の整備や保育所等の  
事故防止策などを強化  
し、子育て環境のさらなる  
充実と待機児童の解消  
に努める。

特に力を注ぐ重点施  
策を3つに絞った。市民  
にわかりやすく示したと  
考える。



廃止になった津山診療所

ふるさと応援寄附金  
事業に対し、きめ細かな  
気配りが大切と考える  
が。

地域医療の充実につい  
ては、医師確保や安定し  
た経営基盤の構築に向  
け、病院や診療所の再編  
・ネットワーク化、経営形  
態の見直し、経営の効率  
化などを進める。

29年度全体での達成  
率は、88.2%となつて  
いる。取り組みの成果は

表れているものと認識し  
ている。本市の将来像の  
実現に向け、引き続き取  
り組む。

問 長沼の自然を生かし健康ランドに

答 提案を横断的に研究していく



関 孝 議員

長沼に健康検診セン  
ターを誘致し、宿泊しな  
がら健康診断をする。結  
果に基づき、市内の安全  
で安心な豊富な食材を活  
用した食事の指導。湖周

一つ一つの観光地の公園  
の中で、そうしたことが  
同時にできるということ  
は、素晴らしい計画をつ

愛知県新城市では、  
若者が活躍するまちづく  
りを目指し、「若者議会」  
を設置。1000万円の  
予算提案権を持つことで、  
具体的な政策を立案、実  
施され成果をあげている。

日本は企業の99.7  
%が中小企業や小規模事  
業者である。そして、地  
域の経済と雇用を支えて  
いるのは、このまちで頑  
張り続ける事業者だ。だ  
からこそ、一人でも多く  
の前向きな事業者を増や  
すことができれば、それ  
だけまちは元気になる。

29年度全体での達成  
率は、88.2%となつて  
いる。取り組みの成果は

表れているものと認識し  
ている。本市の将来像の  
実現に向け、引き続き取  
り組む。



健康づくりの拠点に(東北風土マラソン)

若者が活躍するまちづく  
りを目指し、「若者議会」  
を設置。1000万円の  
予算提案権を持つことで、  
具体的な政策を立案、実  
施され成果をあげている。

日本は企業の99.7  
%が中小企業や小規模事  
業者である。そして、地  
域の経済と雇用を支えて  
いるのは、このまちで頑  
張り続ける事業者だ。だ  
からこそ、一人でも多く  
の前向きな事業者を増や  
すことができれば、それ  
だけまちは元気になる。

29年度全体での達成  
率は、88.2%となつて  
いる。取り組みの成果は

表れているものと認識し  
ている。本市の将来像の  
実現に向け、引き続き取  
り組む。

問 施政方針を予算にどう反映したか

答 医療、教育、財政を基本に編成



登米市の未来を担う子どもたち

教育振興については、  
小中学校等再編実施計画  
づくりに向け、話し合い  
を進める。

29年度全体での達成  
率は、88.2%となつて  
いる。取り組みの成果は

表れているものと認識し  
ている。本市の将来像の  
実現に向け、引き続き取  
り組む。

問 早急な産業支援センター設立を望む

答 調査・研究を進めてまいりたい



中澤 宏 議員



市役所での相談の様子(中田庁舎)

日本は企業の99.7  
%が中小企業や小規模事  
業者である。そして、地  
域の経済と雇用を支えて  
いるのは、このまちで頑  
張り続ける事業者だ。だ  
からこそ、一人でも多く  
の前向きな事業者を増や  
すことができれば、それ  
だけまちは元気になる。

29年度全体での達成  
率は、88.2%となつて  
いる。取り組みの成果は

表れているものと認識し  
ている。本市の将来像の  
実現に向け、引き続き取  
り組む。

日本は企業の99.7  
%が中小企業や小規模事  
業者である。そして、地  
域の経済と雇用を支えて  
いるのは、このまちで頑  
張り続ける事業者だ。だ  
からこそ、一人でも多く  
の前向きな事業者を増や  
すことができれば、それ  
だけまちは元気になる。

29年度全体での達成  
率は、88.2%となつて  
いる。取り組みの成果は

表れているものと認識し  
ている。本市の将来像の  
実現に向け、引き続き取  
り組む。

問 税金申告時の医療費保管について

答 確定申告期限翌日から5年間保存



佐藤千賀子 議員

問 医療費のお知らせが各保険者からあるが9月まで、10月、11月、12月までの3カ月分は各自保管の領収書が必要となる。しかし、医療費領収

書の再発行を行わない医療機関が多く、また、申告で使った領収書は5年間保管しなければならぬが、市民から「高齢になり、領収書の紛失などによって年間保管が難しくなってきた」と話された。このことをどう捉えるか。

答 医療費通知の発行は、県内の多くの市町村が国民健康保険団体連合



問 本市独自の医療領収書の再発行や申告書類の保管期間の緩和ができないか。

Table of council activities from January to March, including committee meetings and public hearings.

議会の動き

地元のために



ぬまくらなおき 沼倉直輝さん (東和)

東和町米川に住んで20年が過ぎました。今は米川生産森林組合で働いていますが、私のように地元に残っている人は少ない状況です。東和中学校の同級生は約50名いますが、地元に残っているのは2割程度しかいません。

やはり若い人たちが地元からいなくなると、地域に元気がなくなってしまう。地域のイベントも規模の縮小や中止など、とても寂しいものです。

そういつた中で、私が勤めているところでは、植林体験や山菜狩りなどの森林体験を通して、都市住民や若者と交流し、米川地域の良さを発信しています。もっと多くの人に米川の良さを知ってもらうために、より多くのイベントを行いたいと考えています。そのためにも、行政や議員の皆さん、地域が一丸となり、取り組んでいかなければならないと考えています。

あつたらいいなと思うこと

私は、石越町で「味処すぎ岡」を営んでいます。休みは趣味の波乗りや雪山を楽しんでいます。店の近くのチャチャワールドはパークゴルフ場の整備を終え、4月3日にリニューアルオープンとなりました。ゴルフ場のオープンは6月1日。6コース54ホールでアジサイを見ながらプレーできるコースもあるようです。たくさんのお客様にきて頂ければと期待しています。



すぎおかゆうこ 杉岡裕子さん (石越)

未来に望む私



あべよしみつ 阿部善光さん (南方)

たくさん魅力があり、考え方や構造を変えることにより、さらなる発展が期待できる。今ある豊かな環境を活かし、人口減少、医療、教育、産業、財政運営等の問題を解決することができる。利用率が低い施設や人口減少で増える廃校を利用した保育施設、児童クラブ、こども園の整備も魅力的。また、企業に施設を貸し出し、事業機会を創出することで、運営財源の確保や新規産業を生み出す。さらに、施設の維持管理や経営能力、技術的能力を活用し、より質の高い公共サービスも期待できる。

震災から8年。私たちは、多くのことを学んだはず。今あるものをどのように使うか。どうすれば生活できるか。考え方、構造を変えれば豊かになる。

「登米市に生まれてよかった。家族と一緒に暮らそう」そんな魅力ある登米市を私は望みます。

あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。



## 意見書

### ○水害予防対策のため支障木の伐採等早急な対応を求める意見書

提案された意見書は、本会議で可決し、関係機関へ送付しました。

「とめ市議会だより(第57号)」一般質問に関する記事(11ページ下段)について、市民の皆様への配慮に欠ける記事が掲載となりましたことに対し、心からお詫び申し上げます。

今後は市民の皆様にご理解や不快な気持ちを抱かせることのないよう、市民の目線に立った、より分かりやすい紙面構成を心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## お詫び

## 佐沼中学校3年生152人が 議会を傍聴しました。



2月19日に佐沼中学校3年生152人が2月定期議会を傍聴しました。佐沼中学校では、「ふるさと教育」登米市の未来を担う子供たち」に取り組みしており、その取り組みの一つとして、3年生が議会を傍聴しました。

## 議会からのお知らせ

### 6月定期議会

6月14日(金)開会予定

## 傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

詳しい議会日程は、議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

## 議会のホームページを 開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

議会のfacebookも開設しています。



いいね!をお願いします



## あとがき

『ようこそ登米市議会へ』平成を締めくくる市議会だよりをお届けします。

「市議会だより変わったね。」そんな市民皆様の声に励まされながら、取り組んできた私たち9名の編集委員もこの58号をもって交代となります。

次号からは一般質問など、紙面では伝えきれない内容をQRコードにより、議会録画中継映像とつなぎ紹介していく予定です。

### 広報広聴委員会

委員長	日下 俊
副委員長	佐々木好博
委員	上野 晃
〃	曾根 充敏
〃	須藤 幸喜
〃	岩淵 正弘
〃	佐藤千賀子
〃	熊谷 和弘
〃	関 孝
議長	及川 昌憲

新しい「令和」の時代は、自然災害などなく、平穏で暮らせることを願うばかりです。  
(関 孝)